

## 平成 26 年度の様々な活動報告

埋蔵文化財調査センターの発掘調査以外の様々な活動について随時報告していきます。

### 3 月 2 日更新 平成 26 年度発掘調査下半期成果報告会を行いました。

調査研究課の成瀬です。

2 月 14 日(土)に豊田市生涯学習センター下山交流館にて平成 26 年度発掘調査下半期成果報告会を行いました。前日に雪が降り、路面凍結なども心配されましたが、当日は好天に恵まれ 45 名の人に参加していただきました。参加された方々は非常に熱心に発表を聞いてくださいました。



【成果報告会】



【遺物・写真の展示】

来年度以降は、年 2 回の開催が難しくなるかと思いますが、できる限りこうした機会をつくっていきたいと考えております。その際はぜひお越しください。

3月2日更新 2月23日に刈谷市教育委員会等の方々が当センターで遺物実見をされました。

調査研究課の小松原です。

2月23日(月)に、刈谷市教育委員会等の方々が遺物実見のため、来館されました。吉野遺跡(瀬戸市)、梅現山遺跡(岩倉市)の出土資料を中心に約950点の遺物を見て頂きました。



【遺物実見の様子】

#### 資料管理閲覧室および図書室の利用について

- ・ 資料管理閲覧室は、平日(月～金)の午前9時から午後4時まで公開しています。(無料)  
※ 2階事務室にお越しください。
- ・ 団体での見学などで、職員による説明を希望される方は、あらかじめご連絡ください。(電話 0567-67-4164)
- ・ 研究のための資料調査をご希望の方も、事前にご連絡ください。
- ・ 図書室の利用を希望される方も事前にご連絡ください。

3月2日更新 愛知県図書館にて公開講座『図書館の下の江戸時代』を開催しました。

調査研究課の小松原です。

1月8日(金)から2月25日(水)まで、愛知芸術文化センター愛知県図書館で開催しておりました『図書館の下の江戸時代—名古屋城三の丸遺跡—』におきましては、多くの方にご来場いただき、誠にありがとうございました。

先日2月22日(日)には愛知県図書館では、展示会と合わせて、公開講座『図書館の下の江戸時代』が開催されました。当日はあいにくのお天気でしたが、大変多くの方にお越し頂きました。



【公開講座会場の様子】

参加者の方々は講演者の話に耳を傾けて下さり、質疑応答も活発に行われました。



【質疑応答の様子】

屋外での江戸ウォークは、写真を撮りながら話を熱心に聞いて下さる方もいらっしゃいました。



【江戸ウォークの様子】

非常に好評のうちに終わることができ、誠にありがとうございました。

#### 1月15日更新 平成26年度発掘調査上半期成果報告会を行いました。

調査研究課の成瀬です。

昨年の10月25日(土)、26日(日)両日開催された豊田市生涯学習センター下山交流館のふれあい祭りに合わせ、**上半期の発掘調査の成果を発表いたしました。**

両日を通じて行われた今年度の発掘調査で出土した遺物・写真の展示には約400名の方に来場していただきました。25日には豊田市の太田市長も来訪され、熱心に説明を聞いていかれました。



【豊田市長来訪】

また、土器の拓本体験では両日で約 140 名の方が参加され、小さなお子さんから年配の方まで幅広い年代の方に体験をしていただきました。

25 日午前中に行われた成果報告会には約 60 名の方が来場され、発表者の話に耳を傾けてくださいました。質疑応答では活発な質問が飛び交い、発表者が返答に窮するような場面もありました。



【拓本体験の様子】



【成果報告会の様子】

2 日間を通じて非常に好評のうちに終わることができ、誠にありがとうございました。

なお、平成 26 年度発掘調査下半期成果報告会・展示は 2 月 14 日（土）に開催する予定です。詳しくは次の案内ポスターをご覧ください。





日 時 2月14日(土) 10:00~12:00  
場 所 豊田市下山地区民館2階 多目的ホール  
内 容 平成26年度下山地区発掘調査の  
調査写真・出土遺物の紹介

入場無料

予約不要

\*お問い合わせ

愛知県埋蔵文化財調査センター 豊田民館内 0565-84-2071  
愛知県埋蔵文化財調査センター 0562-87-4184

【平成26年度下山地区発掘調査下半期成果報告会案内ポスター】

12月15日(月曜日)更新 「あいちの考古学2014」で豊田市・岡崎市下山地区の遺跡の紹介を行いました。

調査研究課の三輪です。

11月29日(土)、30日(日)に名古屋市博物館にて、考古学セミナー「あいちの考古学2014」が開催されました(愛知県埋蔵文化財センター・名古屋市博物館・名古屋市見晴台考古資料館主催)。

当センターでは豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業に伴い、平成22年度から範囲確認調査・発掘調査を行っており、今回のセミナーでは発掘調査の成果を研究報告・ポスターセッションというかたちで報告しました。

会場は全体的に専門家がが多くやや難しい内容だったかもしれませんが、一般の方にも多数ご来場いただき、セミナーは大盛況でした。

今後も発掘成果を発信していく予定ですので、どうぞよろしくお願いいたします。



(左) 孫田遺跡の紹介 (右) ポスターセッション会場の様子

11月10日(月曜日)更新 豊田市下山地区内で催された「炭焼き体験」で発掘調査中の遺跡の紹介をしました。

調査研究課の伊奈です。

10月18日(土)に「ぬかた炭焼きの会」主催(しもやま里山協議会共催)の「炭焼き体験教室」が開かれました。会場は、当センターが発掘調査を行っている豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業用地内で行われ、申し込みをされた約20名の方が参加されました。

今回は、ペール缶を使って竹炭焼に挑戦するという企画で、「ぬかた炭焼きの会」の高木田会長さんをはじめ、会員の皆さんのご指導の下炭焼き体験が行われました。

当センターでは、この地区において遺跡の発掘調査を行っています。江戸時代から近現代にかけての多くの炭焼窯が見つかっています。また、旧石器時代から縄文、弥生、古代、中世の各時代の遺構や遺物が多数発見されていますので、この催しの中で紹介させていただくことになりました。

皆さん熱心に聞いてくださり、遺跡の調査に関心を持っていただくことができました。来年度以降も是非この催しに参加して遺跡の説明をしてほしいとのご意見もいただき、我々もお役に立てたようです。

今後も発掘調査の成果を発信していきたいと思ひます。



炭焼の様子



遺跡の説明と紹介パネル展示

11月7日(金曜日)更新 10月21日(火)・28日(火)に愛知県立天白高等学校で出前授業を行いました。

調査研究課の橋本です。

10月21日(火)と28日(火)、[愛知県立天白高等学校](#)にて第2学年の文系4学級を対象に出前授業を行いました。

授業では、「遺跡の発掘調査や埋蔵文化財について知ることにより、歴史的視野を広げること」、「『本物』の遺物に触れ、質感等を感じることで歴史への興味・関心を高めること」、「土器を分類する体験を通して、これまでに学んだ知識を再確認し、歴史的思考力の基礎を養うこと」を目標としました。

まずは、[清洲城下町遺跡](#)の発掘調査を例にあげ、調査の進め方や調査結果からわかること等の説明を行いました。清洲が、かつて織田信長の居城として栄えたことは生徒の皆さんもよく知っていて、清洲城下町遺跡の出土品や調査結果について関心をもって説明を聞いていました。



【発掘調査の進め方についての授業】

続いて、愛知県内各地の遺跡から出土した土器片・陶器片を用いて時代順に並べることに挑戦してもらいました。使用したのは、縄文土器・弥生土器・須恵器・灰釉陶器・山茶碗・近世陶器です。「縄文土器は厚手で黒褐色」「弥生土器は薄手で赤褐色」「須恵器は灰色で硬質」等々、生徒の皆さんはこれまでに学んだことを振り返って、グループで相談しながら熱心に取り組んでいました。授業の最後には、**朝日遺跡**出土の赤彩土器や**高針原1号窯**出土の須恵器等の完形品を見てもらいました。日頃、教科書や図版で見慣れている土器や陶器であっても、実物を見たり触れたりするのは、ほとんどの生徒さんにとって初めての体験です。興味津々、目を輝かせていた生徒さんたちの姿が印象的でした。



【土器を時代順に並べてみよう】

授業後、生徒の皆さんから寄せられた感想の一部を以下に紹介します。

・普段見ることのできない土器を間近で見ることができ、また触ることができてとても面白かったです。すごく前のことなのに、埋蔵物から様々なことを知ることができるということを実感しました。今までは、自分たちの学んでいる歴史は書物から調べられたことというイメージが強かったけれど、実際に存在していたものが一番の事実であることがわかりました。また、縄文時代や弥生時代の土器に触った時には、人間の技術のすごさがわかりました。そして、今使っている道具も昔の人の知恵から学んで作られたものなんだと思いました。普段学んでいる歴史が身近に感じられてよかったです。

・きれいに保存された出土品ばかりで、本当に千年以上も前のものなのかと驚きました。また、土器を時代順に並べ替えていく実習では、その時代の土器の特徴を改めて知ることができ、勉強になりました。天白高校の近くで発見された土器もあるということを聞いて、「ここにも昔の人が住んでいたんだなあ。」と少し親近感がわきました。授業の後半では、土器に触ってみました。思っていたよりは軽い感じがして、見た目とのギャップにも驚きました。また細かい模様が刻まれていたり、表面がツルツルとしていたりして、現代とほとんどかわらないなとも思いました。

・博物館のケースの中にあるようなものを実際に手に取って見ることで良かったです。土器を時代順に並べ替える実習では、教科書や資料集に写真で載っているような形のきれいなものなら何時代ものかすぐに答えられるけれど、土器の破片や割れていたりするものを見ると分からなくなりました。やはり、ただ机に向かって勉強するだけではなく、実際に見たり触ったりすることも大事なんだと思いました。



【実物に触ってみよう】



当センターでは、埋蔵文化財について広く関心をもってもらうべく、普及啓発活動を行っており、今後も小学校・中学校・高等学校での「総合的な学習の時間」等への出前授業を積極的に行っていきたいと考えています。各学校においても御検討いただければ幸いです。出前授業についてのお問い合わせは、以下まで御連絡ください。

愛知県埋蔵文化財調査センター（担当 佐藤・橋本）

所在地 〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24

電話 0567-67-4164

FAX 0567-65-1841

11月7日（金曜日）更新 11月1日（土曜日）から行われた特別公開の様子を紹介します。

調査研究課の伊奈です。

文化財保護強調週間（11月1日（土）～7日（金））と弥富市主催の市民文化展に合わせて、当センターも「秋の特別公開 2014」を開催しました。

国の重要文化財に指定されている朝日遺跡（清須市・名古屋市）出土品を特別公開し、当センターが現在発掘調査をしている豊田市・岡崎市下山地区の各遺跡からの出土品も展示しました。

特に11月1日（土）・2日（日）は休日でしたが、特別に開館して拓本体験を実施しました。朝日遺跡から出土した土器を使って拓本をとってもらう、「記念のしおり」を作るという内容で、好みの土器を選び、たんぼで墨を打つ作業を楽しく体験してもらいました。小さなお子さんでも楽しめる企画ですので、また機会を作って実施したいと思います。

新聞に掲載されたこともあり、遠方から重要文化財を目当てに足を運んでくださった方も多数おられ、担当者の説明を熱心に聞かれる姿が印象的でした。

6日間で100名近くの来館者があり、担当者としては嬉しい限りです。また、来年の春には「やとみ春まつり」に合わせて「春の特別公開 2015」を企画したいと考えています。是非ご来館ください。



様々な世代の方が来館されました。



国指定重要文化財の朝日遺跡出土品を展示 右はケーブルテレビ（クローバーTV）の取材





拓本体験



拓本のしおりを作成

#### 平常の資料管理閲覧室および図書室の利用について

- ・ 資料管理閲覧室は、平日（月～金）の午前9時から午後4時まで公開しています。（無料）  
※ 2階事務室にお越しください。
- ・ 団体での見学などで、職員による説明を希望される方は、あらかじめご連絡ください。  
（電話 0567-67-4164）
- ・ 研究のための資料調査をご希望の方、図書室の利用を希望される方も事前にご連絡ください。

10月8日(水曜日)更新 9月26日(金曜日)に文化財巡りの会の方々が当センターを見学されました。

調査研究課の伊奈です。

9月26日(水)に全日本年金者組合愛知県岡崎支部文化財巡りの会の方々が、当センターを見学されました。

この会の皆さんは、定期的に各地の文化財巡りをされており、今回は埋蔵文化財、特に朝日遺跡（清須市・名古屋市）で出土した資料の見学を希望されて当センターを訪ねて来られました。研修室にて遺跡の発掘と朝日遺跡について説明した後、館内を見学していただきました。

1階ロビーで展示している朝日遺跡出土の銅鐸（レプリカ）や貝層などを解説し、2階では朝日遺跡出土の土器や石器の実物や、現在当センターが調査をしている豊田下山地区内各遺跡からの出土品なども見てもらいました。

皆さん熱心に見学され、鋭い質問も飛び出すなど、我々職員も勉強になりました。

今後とも多くの皆様に当センターを活用していただけたらと思っています。



左：研修室にて発掘調査について説明

右：1階ロビーの展示品を見学



2 階展示室にて朝日遺跡の出土品などを見学

#### 資料管理閲覧室および図書室の利用について

- ・ 資料管理閲覧室は、平日(月～金)の午前 9 時から午後 4 時まで公開しています。(無料)  
※ 2 階事務室にお越しください。
  - ・ 団体での見学などで、職員による説明を希望される方は、あらかじめご連絡ください。  
(電話 0567- 67-4164)
  - ・ 研究のための資料調査をご希望の方も、事前にご連絡ください。
  - ・ 図書室の利用を希望される方も事前にご連絡ください。
- なお、今回紹介しましたような施設の見学を希望される方は、ご相談ください。

#### 9 月 11 日(木曜日)更新 8 月 21 日(木曜日)に高校生のための「考古学サマーセミナー」を開催しました。

調査研究課の伊奈です。

8 月 21 日(木)、**考古学**に興味を持つ県内の**高校生**を対象とした「**考古学サマーセミナー**」を実施しました。当日は 1 名の欠席者がありましたが、保護者の方お二人が加わり、17 名の参加となりました。

最初に、研修室で**考古学**や**遺跡の調査**についての講義を行いました。**発掘調査の概要**を学習してもらった後、**館内見学**に移り、**展示室**や**遺物収蔵庫**、**科学分析室**、**図書室**などを巡りました。更に(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団**愛知県埋蔵文化財センター**の協力のもと、**遺物整理室**での**実習**や**遺物の接合作業**、**木製品処理室**での作業の様子を見てもらうことができました。

見学の後は実習として、**朝日遺跡**(清須市、名古屋市)から出土した**弥生土器**を使い、**接合**や**拓本**に挑戦してもらいました。

**遺物**はバラバラの状態で出土することが多く、整理作業ではこれらをくっつけることも行われます。参加者の皆さんは、ジグソーパズルのようにはいかない作業に悪戦苦闘していましたが、うまく合わせることができると嬉しそうな様子が見られました。

**土器接合**の後は、接合できなかった破片をつかって**拓本**をとりました。**拓本**は**実測図**や**写真**では表現できない**遺物**の質感を表すための方法です。今回は、作成した**拓本**をラミネートして鞆にしました。

これらの実習の最中に中日新聞の記者の方が訪ねて来られ、参加者の真剣な取り組みを取材していかれました。(8 月 22 日(金)中日新聞朝刊尾張版に掲載)

このセミナーに参加した理由を尋ねると、**歴史**や**考古学**に興味があったからと答えた方が大半でした。実際に参加してみたの感想は、「**実際に土器に触れたり、見たり、体験したことで、歴史や考古学に益々興味がわきました。**」「**考古学をもっと知りたくなりました**」「**次も参加したい**」など、今回の経験で更に関心を深めてもらえたようです。企画した私たちも嬉しいのと同時に大変刺激を受けました。

来年も「**考古学サマーセミナー**」を開催する予定です。多くの**高校生**が参加してくれることを期待しています。



研修室での講義



展示資料の説明



左：遺物整理室での実測や遺物の接合作業 右：木製品処理室での作業



見学 左：特別収蔵庫で木製品に触れる 右：科学分析室での調査の説明を聞く



実習 左：接合の説明 左：接合に挑戦





実習 左：接合 右：拓本



参加者の皆さん

当センターでは、今回紹介した特別な企画以外でも、一年を通して見学者の受け入れをしています。是非ご利用ください。

#### 資料管理閲覧室および図書室の利用について

- ・ 資料管理閲覧室は、平日（月～金）の午前9時から午後4時まで公開しています。（無料）  
※ 2階事務室にお越しください。
- ・ 団体での見学などで、職員による説明を希望される方は、あらかじめご連絡ください。（電話 0567-67-4164）
- ・ 研究のための資料調査をご希望の方も、事前にご連絡ください。
- ・ 図書室の利用を希望される方も事前にご連絡ください。

なお、今回紹介しましたような施設見学を希望される方は、事前にご相談ください。

#### 9月4日(木曜日)更新 8月8日(金)に愛知県立岡崎高等学校の生徒が当センターを見学しました。

調査研究課の橋本です。

8月8日(金)に愛知県立岡崎高等学校の2年生生徒16名が、進路学習の一環として当センターの施設を見学しました。

この日は、当センターの社会的役割及び行政発掘・発掘調査についての説明を聞いた後、展示室・図書室・科学分析室・収蔵庫の他、遺物整理室での遺物接合作業の様子を見学しました。また、施設見学後には、拓本実習も体験しました。

施設見学では、(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センター主催の「**あいち考古薬市 2014**」が開催中でしたので、常設展示の他、**新出土品展示**などを生徒の皆さんは真剣なまなざしで見学していました。

拓本は、写真や実測図では表現しきれない遺物の質感を表すための方法です。今回は、朝日遺跡から出土した弥生土器を使って拓本をとり、それをラミネート加工してしおりにしました。

最後の質疑応答では、「愛知県内の遺跡で最も多く確認される時代はいつですか?」「行政発掘以外に、研究目的で行われる発掘はありますか?」「発掘調査にかかわる費用はどのようになっていますか?」等々の質問が寄せられました。

今回の見学を通して、生徒の皆さんが、考古学に対する理解と関心を深め、また、将来の進路選択について考える契機としてくれたのなら幸いです。

当センターでは、児童生徒の施設見学等の受け入れを行っています。見学の御希望がありましたら、当センターまでお問い合わせください。



発掘調査についての説明



左：新出土品展示 右：遺物整理室の見学



拓本実習

9月2日(火曜日)更新 愛知県海部地区の小中学校の先生方が研修をされました。

調査研究課の伊奈です。

愛知県海部地区現職教育研究社会科部会の小中学校の先生方が来館されました。当センターの仕事についての説明をした後、実際の発掘調査について、写真や出土品を見てもらいながら理解を深めてもらいました。

その後は館内を巡り、展示品はもちろんのこと、**遺物整理作業**や**収蔵庫**など、普段は目にすることのない**バックヤード**も見学してもらいました。

研修の最後には、時代の異なる**土器**を時代順に並べるゲームを体験してもらい、**埋蔵文化財**を授業に生かす授業案を紹介しました。

これをきっかけに、当センターを児童・生徒の皆さんの学習活動に活用していただきたいと思います。



左：発掘調査についての説明 右：館内展示資料の説明



左：整理作業（土器接合）の様子を見学      右：出土遺物の収蔵庫を見学



土器並べの様子

#### 資料管理閲覧室および図書室の利用について

- ・ 資料管理閲覧室は、平日(月～金)の午前 9 時から午後 4 時まで公開しています。(無料)

※ 2 階事務室にお越しください。

- ・ 団体での見学などで、職員による説明を希望される方は、あらかじめご連絡ください。

(電話 0567- 67-4164)

- ・ 研究のための資料調査をご希望の方も、事前にご連絡ください。

- ・ 図書室の利用を希望される方も事前にご連絡ください。

なお、今回紹介しましたような施設の見学を希望される方は、ご相談ください。

#### 7月16日(水曜日)更新    愛知東邦大学でゲストスピーカーとして出前講義を行いました。

調査研究課の伊奈です。

6月27日(金)と30日(月)の二日間、[愛知東邦大学](#)で出前講義を行いました。今回は、以前当センターに勤務し、現在は愛知東邦大学教育学部子ども発達学科助教の白井克尚先生から「歴史学」のゲストスピーカーとして依頼を受けました。

これまでは小・中学校を中心に**出前授業**を実施してきましたが、今回初めて大学で講義を行いました。

講義内容は、[清洲城下町遺跡](#)（清須市）の**発掘調査**を例に**遺跡調査**の概要を説明して、調査によってわかること、更にそれがどう反映され、生かしていくのかということについて考えてもらいました。

最後に**朝日遺跡**（清須市・名古屋市）から出土した土器を使って**拓本**（たくほん）取りに挑戦してもらいました。本物の**土器**に触れるのは初めてという方がほとんどで、とても興味深く取り組んでいました。

昨年は高校でも**出前授業**を行いました。小・中・高校に限らず、大学にも出向いて**埋蔵文化財の普及啓発**に努めたいと思っています。





講義の様子（左：朝日遺跡出土の資料も活用）



拓本の説明



拓本に挑戦



左：白井先生の指導の様子 右：拓本

当センターでは、「**出前授業**」だけでなく、先生方に本物の出土資料を使った授業を行っていただけるよう、「**資料の貸出し**」も行っています。

（「資料の貸出し」には、資料の扱い方を知っていただく必要があります。）

**「出前授業」**や**「資料の貸出し」**のご希望があれば下記までご連絡ください。

愛知県埋蔵文化財調査センター（担当 伊奈）

所在地 〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24

電話 0567-67-4164

FAX 0567-65-1841

調査研究課の伊奈です。

**知立市立知立東小学校**で6年生2クラス約40名の皆さんを対象に**出前授業**を行いました。私のほか、橋本、三輪、鐸木の4名の調査研究課職員がお邪魔しました。

最初に写真やインターネットを使って、現在の清須市と名古屋市にまたがる**弥生時代**の大集落であった**朝日遺跡**の説明をしました。遺跡の発掘調査についても説明したのですが、学年主任の鬼頭先生と、杉浦校長先生は発掘調査の経験があり、杉浦校長先生からは発掘調査の思い出をお話していただきました。



左：杉浦校長先生から発掘調査についてのお話

右：写真やインターネットを使っての説明

その後、実際に**朝日遺跡**から出土した遺物も見てもらいました。ちなみに**朝日遺跡**の出土品の内、2028点は**国の重要文化財**に指定されています。(今回持参した出土遺物は重要文化財には指定されていません)

児童の皆さんには、出土遺物を間近に見てもらい、一部の遺物には実際に手で触れてもらいました。初めて見るという子がほとんどで、興味深く観察する姿が見られました。



朝日遺跡からの出土遺物を観察

説明を終えた後、今度は**朝日遺跡**から出土した**土器**の破片を使って**拓本**(たくほん)体験してもらいました。**拓本**とは、**土器**に施された文様や形を墨を使って紙に写し取る方法です。児童の皆さんは、様々な文様の**土器**の中から自分の気に入ったものを選び、初めての**拓本**に挑戦しました。

取った**拓本**をラミネートしてカードを作り、リボンを通して記念のしおりにしてもらいました。約2000年前の**弥生時代**の人々の生活の一旦を直に感じ取ってもらえたのではないかと思います。

なお、当日は地元のケーブルテレビ「キャッチネットワーク」の取材もあり、その日の夕方のニュース番組で紹介されました。



拓本(たくほん)についての説明



拓本の完成！ 記念の「しおり」も作成しました。

当センターでは、保管している土器や石器などを使った「出前授業」を実施しています。また、先生方に資料を使った授業を行っていただけるよう、「資料の貸出し」も行っています。（「資料の貸出し」には、資料の扱い方を知っていただく必要があります。）ご希望があれば下記までご連絡ください。

愛知県埋蔵文化財調査センター（担当 伊奈）

所在地 〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24

電話 0567-67-4164 FAX 0567-65-1841

5月9日(金曜日)更新 4月に催した「春の特別公開 2014」の様子を紹介します。

調査研究課の伊奈です。今年度も当 Web ページをよろしくお願い致します。

4月5日(土)～20日(日)まで「春の特別公開 2014」を開催しました。昨年は弥富市の「やとみ春まつり」に合わせた2日間だけのイベントでしたが、今年は重要文化財については、近隣でお祭りがあった20日(日)まで公開しました。期間中は(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センターでも「やとみ新発見展\* (しんはっけんでん)」と銘打った新出土品展も開催されました。特に「やとみ春まつり」が行われた4月5日(土)・6日(日)は、当センターが火おこし体験、埋文センターが輪投げや弓矢、ヨーヨー釣り、フェイスペインティングなどの楽しいイベントを実施し、ご当地アイドル AMT (海部地域盛り上げ隊) も来館するなど、両日とも400名を超える来館者で大賑わいでした。



今回の特別公開は、**中日新聞**や**朝日新聞**、地元の**クローバーTV**の取材があったためか、弥富市外の方たちにも知っていただけたようで、県外からの来館者もありました。

広く知っていただけたおかげで、期間中の来館者合計は1300名を数え、多くの皆さんからアンケートを通してご意見を頂きました。秋にはまた**弥富市民文化展**に合わせて**特別公開**を企画したいと考えていますので、ご意見を生かしてより充実したものとしていきたいと思っております。是非お立ち寄りください。



愛知県埋蔵文化財調査センター



左：火おこし体験（成功したので、火おこし名人認定証をもらいました！）

右：埋文センターが行ったヨーヨー釣り



朝日遺跡の重要文化財を展示



新出土品展（昨年度調査された遺跡から発掘された遺物を展示）



ご当地アイドル AMT（海部地域盛り上げ隊）が来館。地元のクローバーTVが取材

#### 平常の資料管理閲覧室および図書室の利用について

- ・ 資料管理閲覧室は、平日（月～金）の午前9時から午後4時まで公開しています。（無料）  
※ 2階事務室にお越しください。
- ・ 団体での見学などで、職員による説明を希望される方は、あらかじめご連絡ください。（電話 0567-67-4164）
- ・ 研究のための資料調査をご希望の方も、事前にご連絡ください。
- ・ 図書室の利用を希望される方も事前にご連絡ください。

#### 5月9日（金曜日）更新 豊田市下山地区で、発掘調査について出前講座を行いました。

調査研究課の成瀬です。

4月18日（金）に豊田市下山交流館にて地元の郷土史を学ぶ会に招かれ、豊田市下山地区での発掘調査について出前講座を行いました。



歴史に興味のある方々の集まりということもあり、質問も多く飛びこちらがたじたじになるほどの熱のごもった会となりました。また飛び入り参加で下山交流館の館長さんも参加され、充実した講座を展開できました。

今後もうこうした一般の方向けの講座なども行っていけたらと考えておりますので、もし開催の希望などありましたらご連絡をいただければできるだけきり対応していきたいと思っております。